

協力医療機関における外来栄養食事指導実施状況報告 (H30.4月～R2.12月末の集計より)

(公社)高知県栄養士会
常務理事 有澤 ゆかり

平成29年度から開始された外来栄養食事指導推進事業も4年目を迎えました。平成30年4月から令和2年12月末までの外来栄養食事指導実施報告書を取りまとめましたので報告します。なお、令和2年度は9カ月間の報告となります。

1) 協力医療機関数の推移

協力医療機関数は、平成30年度76施設から令和元年度93施設、令和2年度は91施設となった。

2) 外来栄養食事指導件数

外来栄養食事指導件数は、協力医療機関数の増加にともない増加した。(表1)

そのうち糖尿病患者の栄養食事指導件数は約50%近くを占めている。(表2)1施設あたりの外来栄養食事指導件数は、平成30年度154件、令和元年度136件と減少した。(表3)

表1 外来栄養食事指導件数

年度別	施設数	総件数
H30	76施設	11741
R1	93施設	12683
R2	91施設	

表2 うち糖尿病患者の栄養食事指導件数

年度別	施設数	総件数
H30	76施設	6076
R1	93施設	6083
R2	91施設	

表3 1施設あたりの外来栄養食事指導件数

年度別	施設数	総件数
H30	76施設	154
R1	93施設	136
R2	91施設	

3) 栄養指導目的の紹介患者数

栄養指導目的の紹介患者数は、平成30年度は85件、令和元年度は156件と増加した。月平均患者数は、平成30年度7.0件、令和元年度13.0件、令和2年度11.1件となっている。(表4)

栄養指導目的の紹介患者数のうち糖尿病患者紹介者数は平成30年度70件(82.4%)、令和元年度119件(76.3%)であった。(表5)また、令和元年度から追加調査した「糖尿病患者の指導件数のうち診療所紹介患者への栄養食事指導件数」は、322件で5.3%を占めていた。令和2年度9ヶ月間では286件、6.4%であった。(表6)

表4 表1のうち栄養指導目的の紹介患者数

年度別	件数	割合	月平均
H30	85件/年	0.7%	月平均 7.0件
R1	156件/年	1.3%	月平均 13.0件
R2	100件/9ヶ月	1.0%	月平均 11.1件

表5 表4のうち糖尿病患者紹介者数

H30	70件/年	82.4%	月平均5.8件
R1	119件/年	76.3%	月平均9.9件
R2	71件/9ヶ月	71.0%	月平均7.9件

表6 表2のうち診療所紹介患者への栄養食事指導件数

H30			
R1	322件/年	5.3%	月平均9.9件
R2	286件/9ヶ月	6.4%	月平均9.1件

4) 施設ごとの外来栄養食事指導件数状況

外来栄養食事指導件数が月平均100件以上の施設は、平成30年度と令和元年度は2施設であったが、令和2年度は4施設と増加した。また、月平均40件以上の施設は、平成30年度8施設、令和元年度8施設、令和2年度10施設と増加傾向である。月平均1～4件と1件未満を合わせた施設数は、平成30年46施設、令和元年度62施設、令和2年度63施設と増加している。

表7 外来栄養食事指導件数別施設数の推移

月平均指導件数	H30	%	R1	%	R2	%
100件以上	2	2.6%	2	2.2%	4	4.4%
80～99件	1	1.3%	1	1.1%	0	0.0%
60～79件	2	2.6%	4	4.3%	3	3.3%
40～59件	3	3.9%	1	1.1%	3	3.3%
20～39件	5	6.6%	5	5.4%	2	2.2%
10～19件	6	7.9%	6	6.5%	6	6.6%
5～9件	11	14.5%	12	12.9%	10	11.0%
1～4件	17	22.4%	21	22.6%	21	23.1%
1件未満	29	38.2%	41	44.1%	42	46.2%
施設数	76		93		91	

5) 保健医療圏別の協力医療機関数と月平均外来栄養食事指導件数

協力医療機関は令和2年度91施設となり、そのうち高知市は44施設で48.4%を占めている。年度ごとの月平均外来栄養食事指導件数は、高知市、中央西、中央東では増加しているが、安芸圏域、高幡圏域、幡多圏域では減少している。

表8 地域別月平均外来栄養食事指導件数の推移

	H30	R1	R2	H30	R1	R2
地域別	協力医療機関数の推移(施設数)			月平均栄養指導件数の推移(件)		
安芸圏域	4	4	4	30	25	22
高知市	38	44	44	691	709	780
中央西	8	11	10	67	119	146
中央東	10	11	10	92	98	99
高幡圏域	6	8	8	18	21	10
幡多圏域	10	15	15	81	70	53
総数	76	93	91	978	1042	1111

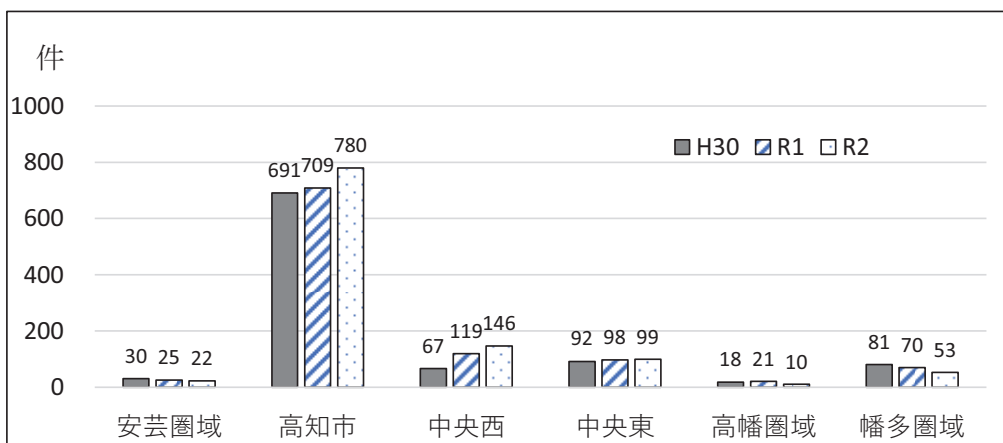


図1 地域別月平均栄養指導件数の推移

【まとめ】

糖尿病等の重症化予防を進めるため、外来栄養食事指導を提供する体制を整備することを目的に（公社）高知県栄養士会は、外来栄養食事指導推進事業を高知県から受託し、事業を推進している。その中で、協力医療機関の協力のもと平成29年度から継続して四半期ごとに「外来栄養食事指導実施報告書」を提出していただいている。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の流行が医療機関の診療の在り方を大きく変え、電話等での診療実施により外来栄養食事指導も予約キャンセルになるなど、指導件数減少に影響を与えたことは否めない。また、新規の協力医療機関は増加したが、令和2年度は約7割の施設で外来栄養食事指導実施件数が月平均4件以下という状況となった。（表7）

平成30年度に協力医療機関の医師及び管理栄養士へ実施した意識調査では、医師の55.6%が「自院の栄養指導件数が少ないと認識」しており、「外来糖尿病患者に対して栄養食事指導を受けることを勧めているか」という設問に対し、「必要に応じて勧めている」が66.7%を占め、主治医の判断に委ねられていることもわかった。

管理栄養士は、「現状よりも指示件数が増加した場合」に「優先的に対応する」53.4%、「業務調整ができれば対応する」41.4%と回答しており、医師の指示があれば専門職として栄養食事指導を実施する意欲が強いこともわかった。

新型コロナウイルス感染症の流行により、運動不足と食生活の乱れから体重増加、血糖コントロール不良となった患者さんは明らかに増えている。医療機関の管理栄養士は、今まで以上に医師・看護師等の他職種と積極的に患者情報を共有し、協力して、糖尿病等の治療中断やコントロール不良を防ぐために、早期からの継続的な食事・生活指導の実施にまい進する必要がある。